

結婚について

1. 結婚に対する考え方

(1) 結婚に対する考え方(問3)

【全員に】

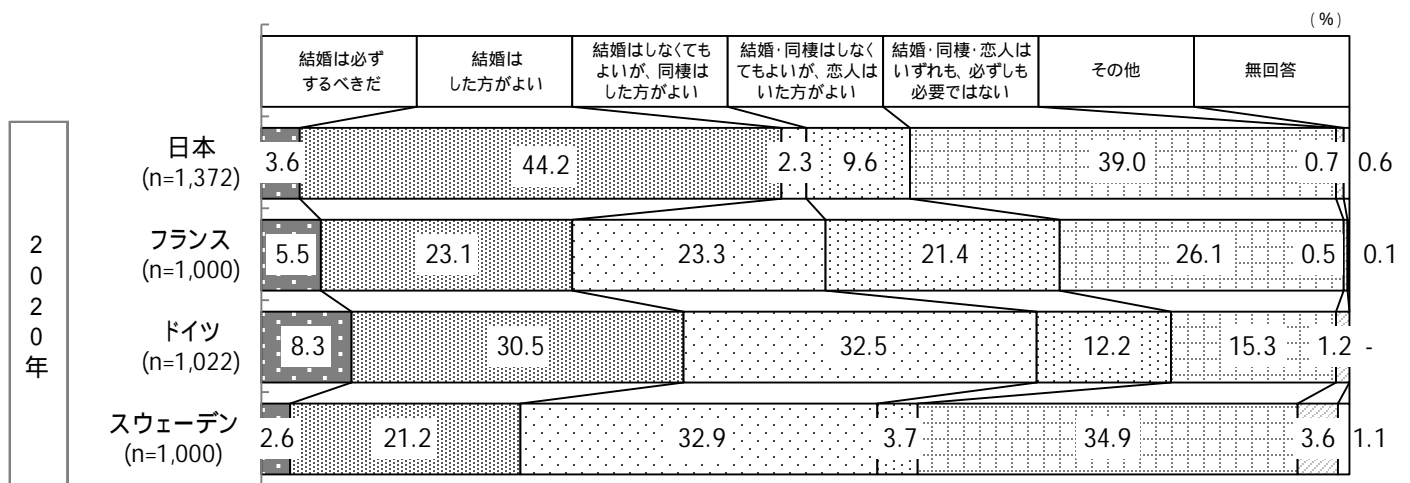
問3 人生における結婚や同棲の必要性に対する以下のような考え方のうち、あなたの意見にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1 結婚は必ずすべきだ | 5 結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない |
| 2 結婚はした方がよい | 6 その他() |
| 3 結婚はしなくてもよいが、同棲はした方がよい | |
| 4 結婚・同棲はしなくてもよいが、恋人はいた方がよい | |

人生における結婚や同棲の必要性に対する考え方について聞いたところ、日本では、「結婚はした方がよい」(44.2%)が最も高い一方で、「結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない」が39.0%と次に高くなっている。

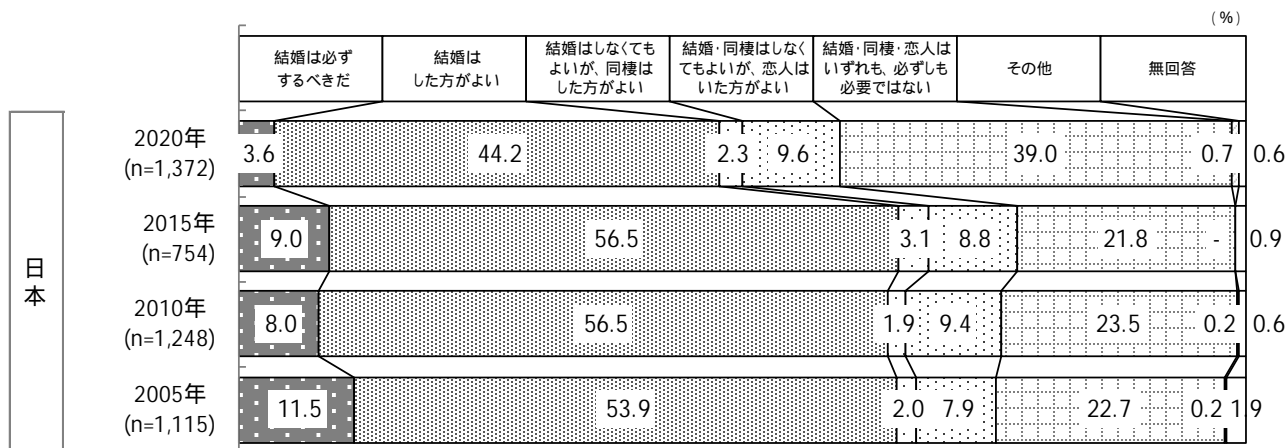
各国の結果を比較すると、日本では「結婚はしなくてもよいが、同棲はした方がよい」が2.3%と極めて低い割合であるのに対して、欧州3か国では高い割合となっている(フランス:23.3%、ドイツ:32.5%、スウェーデン:32.9%)。(図 - 1)

図 - 1 結婚に対する考え方(4か国比較)



日本について過去の結果と比較すると、「結婚は必ずすべきだ」(3.6%)が2015年度調査の9.0%より5.4ポイント、「結婚はした方がよい」(44.2%)が2015年度調査の56.5%より12.3ポイント減少している。一方、「結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない」(39.0%)が2015年度調査の21.8%より17.2ポイント増加している。(図 - 2)

図 - 2 結婚に対する考え方(日本)



注:「無回答」について、2015年以前は「わからない」という項目になる。

(2) 独身の理由 (問 3 b)

【問 3 a で「 2 結婚していないが、同棲している」「 3 結婚したことはあるが、今はそうではない」、
「 4 結婚も同棲もしていない」と答えた方に。

問 3 a で「 1 結婚している (現在、配偶者あり)」と答えた方は、問 4 へお進みください。】

問 3 b 現在結婚していない理由を、次の中から選ぶとすればどれですか。

(1) まず、 1 番当てはまる理由を選んでください。(○ は 1 つだけ)

(2) では、 2 番目は何でしょうか。(○ は 1 つだけ)

(3) 続いて、 3 番目は何でしょうか。(○ は 1 つだけ)

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1 結婚するにはまだ若すぎるから | 8 異性とうまく付き合えないから |
| 2 結婚する必要性を感じないから | 9 経済的に余裕がないから |
| 3 同棲のままで十分だから | 10 結婚生活のための住居のめどがたたないから |
| 4 今は、仕事 (又は学業) に打ち込みたいから | 11 親や周囲が結婚に同意しない (だろう) から |
| 5 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから | 12 一生、結婚するつもりはないから |
| 6 独身の自由さや気楽さを失いたくないから | 13 その他 () |
| 7 適当な相手にまだ巡り会わないから | 14 特にない |

現在結婚をしていない人に、独身の理由を 1 番当てはまるものから順に 3 つまで聞いた。1 番当てはまる理由は、日本では、「適当な相手にまだ巡り会わないから」(28.9%) が最も高く、以下、「経済的に余裕がないから」(11.1%)、「結婚するにはまだ若すぎるから」(10.2%) などの順となっている。

各国の結果を比較すると、フランス・ドイツでは「結婚する必要性を感じないから」(フランス : 24.9%、ドイツ : 23.8%)、スウェーデンでは「適当な相手にまだ巡り会わないから」(26.3%) の割合が最も高くなっている。

日本について過去の結果と比較すると、「今は、仕事 (又は学業) に打ち込みたいから」(2015 年 : 14.5% 2020 年 : 6.7%) と「結婚する必要性を感じないから」(15.5% 8.3%) が 2015 年度調査より 7 ポイント以上減少している。(図 - 3)

図 - 3 独身の理由（1番目）

	2020年 (%)				日本 (%)	
	日本 (n=578)	フランス (n=718)	ドイツ (n=681)	スウェーデン (n=631)	2020年 (n=578)	2015年 (n=297)
結婚するにはまだ若すぎるから	10.2	14.6	18.9	5.2	10.2	7.4
結婚する必要性を感じないから	8.3	24.9	23.8	24.7	8.3	15.5
同棲のままで十分だから	0.2	16.7	15.0	18.1	0.2	-
今は、仕事(又は学業)に打ち込みたいから	6.7	4.9	5.6	4.8	6.7	14.5
今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	5.9	2.6	1.9	0.8	5.9	4.7
独身の自由さや気楽さを失いたくないから	8.7	4.3	2.9	1.0	8.7	6.7
適当な相手にまだ巡り会わないから	28.9	15.5	20.6	26.3	28.9	27.3
異性とうまく付き合えないから	3.6	1.1	0.3	1.7	3.6	2.4
経済的に余裕がないから	11.1	2.8	2.9	3.3	11.1	8.4
結婚生活のための住居のめどがたたないから	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5	1.0
親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	0.9	0.1	0.4	0.2	0.9	1.3
一生、結婚するつもりはないから	3.6	6.0	1.5	1.6	3.6	1.7
その他	6.1	3.1	5.1	10.9	6.1	2.4
特にない	3.3	2.8	0.4	0.3	3.3	1.3
無回答	2.1	-	-	0.5	2.1	5.4

注:「無回答」について、2015年は「わからない」という項目になる。

なお、2番目、3番目の理由は以下のとおりである。(図 - 4、図 - 5)

図 - 4 独身の理由(2番目)

	2020年 (%)				日本 (%)	
	日本	フランス	ドイツ	スウェーデン	2020年	2015年
	(n=578)	(n=718)	(n=681)	(n=631)	(n=578)	(n=297)
結婚するにはまだ若すぎるから	3.6	5.8	6.9	3.3	3.6	3.7
結婚する必要性を感じないから	10.9	24.9	21.7	24.4	10.9	7.4
同棲のままで十分だから	1.0	17.1	16.6	21.7	1.0	1.0
今は、仕事(又は学業)に打ち込みたいから	7.6	9.5	12.9	8.2	7.6	11.1
今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	12.1	8.2	4.8	3.2	12.1	12.5
独身の自由さや気楽さを失いたくないから	15.9	7.1	7.2	4.0	15.9	10.1
適当な相手にまだ巡り会わないから	13.1	6.5	10.1	8.6	13.1	16.5
異性とうまく付き合えないから	7.3	1.7	1.3	3.0	7.3	3.0
経済的に余裕がないから	9.7	2.5	5.7	7.3	9.7	13.1
結婚生活のための住居のめどがたたないから	1.7	1.0	1.9	0.5	1.7	1.3
親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	1.4	0.1	0.4	0.2	1.4	1.0
一生、結婚するつもりはないから	2.1	3.1	2.6	2.5	2.1	0.7
その他	0.7	1.3	5.0	3.0	0.7	-
特にない	6.9	8.4	1.3	6.7	6.9	4.7
無回答	5.9	2.8	1.3	3.5	5.9	13.8

注:「無回答」について、2015年は「わからない」という項目になる。

図 - 5 独身の理由（3番目）

	2020年 (%)				日本 (%)	
	日本 (n=578)	フランス (n=718)	ドイツ (n=681)	スウェーデン (n=631)	2020年 (n=578)	2015年 (n=297)
結婚するにはまだ若すぎるから	1.7	3.2	1.8	4.3	1.7	2.7
結婚する必要性を感じないから	8.7	9.1	3.5	11.6	8.7	7.1
同様のままで十分だから	1.7	7.5	3.2	7.4	1.7	1.3
今は、仕事(又は学業)に打ち込みたいから	4.7	6.5	3.5	9.8	4.7	6.4
今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	9.3	8.2	5.3	5.4	9.3	10.1
独身の自由さや気楽さを失いたくないから	14.0	9.3	4.0	4.0	14.0	12.8
適当な相手にまだ巡り会わないから	8.5	9.3	3.2	6.7	8.5	9.8
異性とうまく付き合えないから	5.0	1.7	0.7	2.5	5.0	3.4
経済的に余裕がないから	9.0	4.0	5.1	10.8	9.0	12.1
結婚生活のための住居のめどがたたないから	1.7	3.2	1.8	1.1	1.7	5.7
親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	2.2	0.6	1.8	0.2	2.2	0.7
一生、結婚するつもりはないから	2.4	7.5	4.7	3.8	2.4	1.7
その他	0.9	0.6	3.8	5.7	0.9	-
特になし	19.2	16.7	11.6	18.1	19.2	6.4
無回答	10.9	12.5	46.0	8.7	10.9	19.9

注:「無回答」について、2015年は「わからない」という項目になる。

なお、独身の理由について、上位3項目を合わせて集計したところ、日本では、「適当な相手にまだ巡り会わないから」(50.5%)が最も高く、以下、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(38.6%)、「経済的に余裕がないから」(29.8%)、「結婚する必要性を感じないから」(27.9%)、「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」(27.3%)などの順となっている。

各国の結果を比較すると、欧州3か国では「結婚する必要性を感じないから」(フランス：58.9%、ドイツ：49.0%、スウェーデン：60.7%)の割合が最も高くなっている。

日本について前回2015年度調査と比較すると、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(29.6%→38.6%)が9.0ポイント増加し、「今は、仕事(又は学業)に打ち込みたいから」(32.0%→19.0%)が13.0ポイント減少している。(図 - 6)

図 - 6 独身の理由(上位3項目)

	2020年 (%)				日本 (%)	
	日本 (n=578)	フランス (n=718)	ドイツ (n=681)	スウェーデン (n=631)	2020年 (n=578)	2015年 (n=297)
結婚するにはまだ若すぎるから	15.6	23.7	27.6	12.8	15.6	13.8
結婚する必要性を感じないから	27.9	58.9	49.0	60.7	27.9	30.0
同棲のまままで十分だから	2.9	41.4	34.8	47.2	2.9	2.4
今は、仕事(又は学業)に打ち込みたいから	19.0	20.9	22.0	22.8	19.0	32.0
今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	27.3	19.1	12.0	9.4	27.3	27.3
独身の自由さや気楽さを失いたくないから	38.6	20.8	14.1	8.9	38.6	29.6
適当な相手にまだ巡り会わないから	50.5	31.3	33.9	41.5	50.5	53.5
異性とうまく付き合えないから	15.9	4.5	2.3	7.3	15.9	8.8
経済的に余裕がないから	29.8	9.3	13.8	21.4	29.8	33.7
結婚生活のための住居のめどがたたないから	4.0	4.7	4.3	2.2	4.0	8.1
親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	4.5	0.8	2.6	0.5	4.5	3.0
一生、結婚するつもりはないから	8.1	16.6	8.8	7.9	8.1	4.0
その他	7.6	4.9	14.0	19.7	7.6	2.4
特にない	3.3	2.8	0.4	0.3	3.3	9.8
無回答	2.1	-	-	0.5	2.1	5.4

注:「無回答」について、2015年は「わからない」という項目になる。

2. 結婚生活の条件

(1) 結婚生活について不安に感じること(問4)

【全員に】

問4 あなたが、結婚生活について不安に感じることは何ですか。この中からあなたの考えに近いものを、いくつでも選んでください。(○はいくつでも)
同棲している方は、パートナーとの生活についてお答えください。

- | | |
|----------------------------------|---------------|
| 1 二人の相性 | 7 雇用が安定していない |
| 2 二人の間で起こる問題の解決 | 8 自分の自由の制約 |
| 3 お互いの親族との付き合い | 9 子供の育て方 |
| 4 お互いの親の介護 | 10 子供の教育 |
| 5 お互いの前の配偶者やパートナーとの
子供への向き合い方 | 11 子供ができない可能性 |
| 6 結婚生活にかかるお金 | 12 その他() |
| | 13 特になし |

結婚生活について不安に感じることを聞いたところ、日本では、「結婚生活にかかるお金」(42.3%)が最も高く、「二人の間で起こる問題の解決」(35.6%)、「お互いの親族との付き合い」(35.2%)、「二人の相性」(34.8%)、「お互いの親の介護」(34.0%)などの順となっている。

各国の結果を比較すると、フランスでは「二人の相性」(37.6%)、ドイツ・スウェーデンでは「二人の間で起こる問題の解決」(ドイツ：42.1%、スウェーデン：37.2%)が最も高い。

日本について過去の結果と比較すると、2015年度調査より「二人の相性」(2015年：21.6% 2020年：34.8%)が13.2ポイント、「二人の間で起こる問題の解決」(23.6% 35.6%)が12.0ポイント増加している。(図 - 7)

図 - 7 結婚生活について不安に感じること

	2020年 (%)				日本 (%)		
	日本 (n=1,372)	フランス (n=1,000)	ドイツ (n=1,022)	スウェーデン (n=1,000)	2020年 (n=1,372)	2015年 (n=754)	2010年 (n=1,248)
二人の相性	34.8	37.6	41.2	31.7	34.8	21.6	17.0
二人の間で起こる問題の解決	35.6	31.0	42.1	37.2	35.6	23.6	19.7
お互いの親族との付き合い	35.2	18.8	27.8	15.3	35.2	32.6	25.5
お互いの親の介護	34.0	6.5	10.7	11.4	34.0	35.9	36.9
お互いの前の配偶者や パートナーとの子供への向き合い方	10.4	11.3	13.3	14.4	10.4	12.5	7.5
結婚生活にかかるお金	42.3	19.2	22.4	8.8	42.3	37.3	28.4
雇用が安定していない	11.5	14.3	11.7	7.7	11.5	10.1	18.7
自分の自由の制約	24.6	26.8	30.7	20.4	24.6	18.3	11.9
子供の育て方	27.1	17.3	22.3	14.9	27.1	24.8	24.9
子供の教育	27.6	7.9	10.5	8.5	27.6	23.5	23.1
子供ができない可能性	7.9	5.0	7.7	8.5	7.9	5.0	5.0
その他	1.6	0.4	1.5	3.4	1.6	-	0.3
特にない	9.6	20.5	20.8	25.1	9.6	8.9	12.5
無回答	0.2	0.2	0.6	1.3	0.2	0.5	0.4

注:「無回答」について、2015年以前は「わからない」という項目になる。

3. ライフデザイン

(1) 結婚や家族の在り方の意識形成(問5)

問5 結婚や家族の在り方について、あなたが親として、自分の子供に成人までに伝えたいと思うことはありますか。この中からあなたの考えに近いものをいくつでも選んでください。自分の子供がいない場合は、いると仮定してお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1 成人したら早く親元から自立する方がよい | 7 女性は結婚・出産した後も仕事をすべきである |
| 2 恋愛や交際の経験は大切だ | 8 将来を考えてお金を管理することは大切だ |
| 3 1人で暮らすよりも配偶者やパートナーがいた方がよい | 9 結婚や子供を持つ年齢、子供の成長などを考えて人生設計を立てることは大切だ |
| 4 子供がいると生活が楽しく豊かになる | 10 定時に仕事を終わらせて、家族との時間を大切にすることが望ましい |
| 5 子供を持つ時期は早い方がよい | 11 その他() |
| 6 男性は家事や育児に積極的に参加すべきである | 12 特になし |

結婚や家族の在り方について、親として、自分の子供に成人までに伝えたいと思うことを聞いたところ、日本では、「将来を考えてお金を管理することは大切だ」(69.0%)が最も高く、以下、「男性は家事や育児に積極的に参加すべきである」(49.2%)、「恋愛や交際の経験は大切だ」(41.5%)の順となっている。

各国の結果を比較すると、フランスでは「成人したら早く親元から自立する方がよい」(51.3%)、ドイツでは「恋愛や交際の経験は大切だ」(63.0%)、スウェーデンでは、「将来を考えてお金を管理することは大切だ」(65.0%)が最も高くなっている。

日本について過去の結果と比較すると、2015年度調査より「結婚や子供を持つ年齢、子供の成長などを考えて人生設計を立てることは大切だ」(40.7% 30.6%)が10.1ポイント減少している。また、「女性は結婚・出産した後も仕事をすべきである」(15.2%)は2015年度調査では「女性が仕事をしながら子育てをすることはよいことだ」(28.5%)として質問した。(図 - 8)

図 - 8 結婚や家族の在り方の意識形成

	2020年 (%)				日本 (%)	
	日本 (n=1,372)	フランス (n=1,000)	ドイツ (n=1,022)	スウェーデン (n=1,000)	2020年 (n=1,372)	2015年 (n=754)
成人したら早く親元から自立する方がよい	24.6	51.3	37.9	35.4	24.6	27.1
恋愛や交際の経験は大切だ	41.5	35.8	63.0	57.2	41.5	37.3
1人で暮らすよりも配偶者やパートナーがいた方がよい	19.4	21.4	39.7	15.3	19.4	25.5
子供がいると生活が楽しく豊かになる	35.2	38.2	38.7	44.0	35.2	44.3
子供を持つ時期は早い方がよい	14.7	8.2	21.5	7.0	14.7	16.7
*男性は家事や育児に積極的に参加すべきである	49.2	24.7	25.8	44.7	49.2	45.8
**女性は結婚・出産した後も仕事をすべきである	15.2	19.7	27.5	37.1	15.2	28.5
将来を考えてお金を管理することは大切だ	69.0	43.8	50.6	65.0	69.0	66.6
結婚や子供を持つ年齢、子供の成長などを考えて人生設計を立てることは大切だ	30.6	17.4	28.4	15.9	30.6	40.7
定時に仕事を終わらせて、家族との時間を大切にすることが望ましい	19.8	19.7	30.7	12.7	19.8	18.4
その他	2.3	0.2	1.6	7.3	2.3	0.1
特にない	7.5	6.6	4.0	2.5	7.5	2.4
無回答	0.1	0.1	0.1	0.9	0.1	0.4

*2015年は「男性も家事や育児に積極的に参加すべきである」で聴取

**2015年は「女性が仕事をしながら子育てをすることはよいことだ」で聴取

注：「無回答」について、2015年は「わからない」という項目になる。

4. 自治体のマッチングシステムによる支援

(1) 自治体のマッチングシステムによる支援に対する考え方 (問6) * 新規の質問

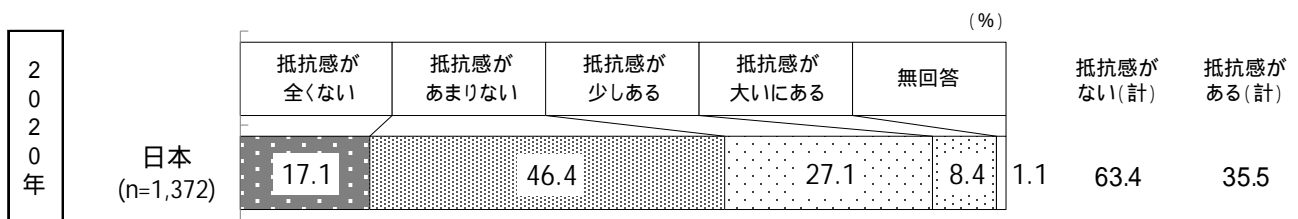
【日本のみ】

問6 結婚相手・パートナーを見つけるために、自治体がマッチングシステムを活用した支援を行うことについて、どのように感じますか。この中から1つを選んでください。(○は1つだけ)

- 1 抵抗感が全くない
- 2 抵抗感があまりない
- 3 抵抗感が少しある
- 4 抵抗感が大いにある

日本において、自治体のマッチングシステムによる支援について聞いたところ、「抵抗感が全くない」(17.1%)と「抵抗感があまりない」(46.4%)を合計した『抵抗感がない(計)』が63.4%となっている。(図 - 9)

図 - 9 自治体のマッチングシステムによる支援に対する考え方



(2) 自治体のマッチングシステムによる支援に抵抗感がある理由(問6SQ) *新規の質問

【日本のみ：問6で「3 抵抗感が少しある」「4 抵抗感が大いにある」と答えた方に】

問6SQ 結婚相手・パートナーを見つけるために、自治体がマッチングシステムを活用した支援を行うことに抵抗感がある理由は何ですか。この中から当てはまるものを、いくつでも選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1 自治体による支援では、個人情報の漏えいに不安があるから | 5 自治体による支援には抵抗感はないが、マッチングシステムでは個人情報の漏えいに不安があるから |
| 2 自治体による支援では、第三者にプライベートな情報を公開することに不安があるから | 6 自治体による支援には抵抗感はないが、マッチングシステムで第三者にプライベートな情報を公開することに不安があるから |
| 3 自治体による支援では、希望する相手と出会えないと思うから | 7 自治体による支援には抵抗感はないが、マッチングシステムでは希望する相手と出会えないと思うから |
| 4 自治体による支援は、費用や支援内容がよくわからないから | 8 その他() |

日本において、自治体のマッチングシステムによる支援に抵抗感があると回答した人に、その理由について聞いたところ、「自治体による支援では、第三者にプライベートな情報を公開することに不安があるから」(33.7%)が最も高く、「自治体による支援では、希望する相手と出会えないと思うから」(30.6%)が続く。(図 - 10)

図 - 10 自治体のマッチングシステムによる支援に抵抗感がある理由

